

地区別市政懇談会 当日質疑応答用紙一覧 南地区

地区別に事前にあげられたテーマについて

	質問事項	当日の回答	担当課
1	<p>秦野駅南口（今泉地区）土地区画整理事業にかかる第2次土地区画整理事業（都市計画道路築造）について、現在の土地区画整理事業（A地区）に引き続き、都市計画道路部分（B地区）の事業を近々実施される、ということでしたが、具体的にはどのような方法で、実施されるのでしょうか。</p> <p>土地区画整理事業であることを鑑みて、公正・公平に実施して貰いたいと考えます。</p>	<p>都市計画道路尾尻諏訪原線の沿道をB地区としています。現在、都市計画道路が未整備であるため、駅周辺からのアクセスが不便な事から早期の整備が望まれています。事業の実施に際しては駅周辺における土地の有効利用を図るため、都市計画道路の整備だけではなく周辺道路を始めとする上下水道等の公共施設の整備、及び宅地の整備を併せて実施する区画整理事業を整理手法とすることが良好なまちづくりの形成につながると考えています。</p> <p>また、当該区域については、土地区画整理事業を実施した場合、土地の総資産高が減少する減価補償地区になると予測しているため、事業化にあたっては市施行を視野に入れて検討を進めていきたいと考えています。</p> <p>（補足） 平成25年度夏に土地計画道路沿道地域の地権者の意向調査を行い、現在、市施工も視野に入れた土地区画整理事業の実施について検討中です。</p>	まちづくり 推進課
2	<p>防災訓練のあり方について、ここ数年、自主防災会単位での訓練となっています。実際に被災した時の実践とするため、広域避難場所で、市職員、学校職員、避難所運営委員会などと十分協議し、自主防災会との連携を図り充実した訓練を、市主導で行うべきではないかと考えます。</p>	<p>平成18年度から、地域実践型訓練ということで、自主防災会単位でメニューを選び、訓練に取り組んでいただいています。その結果、地域での訓練の中で、必要に感じた資材を市の補助金制度を利用し、購入していただくなど、地域防災力の強化ができたと考えます。</p> <p>訓練方法はアンケート結果を反映したものになっていますが、それぞれの地域の事情に合わせ、柔軟に対応していきたいと考えますので、ご相談いただきたいと思えます。</p> <p>また、広域避難所へ行く機会が無い、という意見もありましたので、昨年度から、夏の総合防災訓練は自主防災会の地域実践型訓練、冬の防災ボランティア週間を利用した避難所運営訓練については、住民参加型の内容で取り組む、という方針を出し、1月に実施していた防災講演は東日本大震災に時期に合わせて開催するという方針に変更しています。</p>	防災課

<p>3</p>	<p>総合計画にもうたわれている、震生湖周辺整備計画はどのようになっていますか。ゴルフ練習場の所有者が変わり、その後の進捗はどのようになるのでしょうか。</p>	<p>震生湖周辺はその多くが民有地であること、隣接する中井町との調整も必要となることなどから、市の一方的な考えにならぬよう十分な合意形成に向けた地道な取り組みが必要となります。まず、確実にできることから順次進めていくことが必要であり、その視点でまずは湖畔の環境改善を考えています。具体的には、湖面に残されている倒木、老朽化した四阿（あずまや）の除去、老朽化した入口看板の一部更新等を行ってまいります。</p> <p>ゴルフ練習場跡地は民間事業者が取得し新たな土地利用の可能性があるため、その経過を十分注視していく必要が生じています。必要に応じ、民間事業者とも協議をしながら、その動向を見極めたいと考えます。</p> <p>豊かな里地里山、優れた自然環境を持つ資源として、また、関東大震災痕跡としての地形的遺産という文化財的価値という観点からも、震生湖の魅力を引き出すような整備に向けた基本方針をまとめていきたいと考えます。</p> <p>(補足) 平成25年12月、湖面に残された倒木、弁財天裏の子供広場にある老朽化した遊具とベンチの撤去を行いました。 現在老朽化した四阿（あずまや）の解体手続きと看板類の整備を進めています。 また、湖畔周辺の環境整備を進めるための基本方針を取りまとめています。</p>	<p>商工観光課</p>
<p>4</p>	<p>渋沢丘陵の堆肥施設の臭気問題について、平成24年も取り上げました。その際、関係者で対策協議会を設置して欲しい旨の要望もしましたが、市ではその考えは無いとの回答でした。今後解決に向けどのように取り組むつもりか、説明して欲しいと思います。</p>	<p>地域の方々の生活環境と、畜産農業者との良好な環境づくりをしていくことは、大変重要な事と認識しています。</p> <p>現在、臭気を感じられる、という情報があった場合、職員がそのつど現地で状況確認、施設の活動状況等の確認等も行っているところです。臭気低減のため、23年度から、畜産農家が実施する臭気対策への助成等も行っています。</p> <p>今年度からは、定期的な臭気測定を実施し、臭気低減対策に必要な対策の実施・検証を行なってまいりました。</p> <p>また、協議会ということについては、自治会の方、堆肥施設の方、市の3者により、臭気について現状の確認など、意見交換会を実施する予定です。まずは共通認識を持って話し合っていきたいと考えます。</p> <p>(補足) 平成25年10月12日、11月30日、平成26年の3月1日に自治会、堆肥利用組合、市の3者による意見交換会を行い臭気対策の今後の対応について話し合いを行いました。</p>	<p>農産課</p>

5	<p>通学路の危険個所の改善を要望します。具体的には、県道平塚秦野線の日本赤十字秦野病院前の市道との交差点が信号待ちが長く、県道を横断する児童が滞留してしまいます。待機場所確保のため、植栽の伐採等をお願いします。</p>	<p>通学路については、毎年、年度初めに各小中学校で設定していただきます。これを基に各小学校の交通安全担当者、PTA等の方々が安全点検をいたします。整備、改善が必要な箇所は教育委員会に整備要望を出していただいています。教育委員会ではこの整備要望書を元に7月に警察署と道路管理者、交通安全所管部署と打ち合わせ、学校、PTAも含め、合同点検を実施し、関係部署に要望箇所への対応を検討を依頼します。その後、検討結果を各校へ回答しています。急を要する箇所へは、そのつど対応をお願いしています。 今回具体的にあげていただいた箇所は、要望としてあげられていませんでしたが、担当部署では既に状況を確認し、対応についての協議をしています。</p>	<p>学校教育課 道路管理課</p>
---	--	---	------------------------

当日の質疑応答について

	質問内容	当日の回答	補足、現在の状況・今後の対応等	
1	<p>総合計画の進行管理として、数値目標と検証が必要なのではないのでしょうか。</p>	<p>総合計画に掲げる事業について数値目標を定め、検証も実施しています。</p>	<p>事業計画の達成に向けて、計画の当初、中間年、最終年、それぞれに数値目標を掲げています。 また、毎年度、数値目標の達成状況や事業の進捗状況等について全庁的に検証を行なっています。</p>	<p>企画課</p>
2	<p>震生湖をどのような方向性で活性化を図ろうとしているのか、はっきり見えてこないと感じます。</p>	<p>水と緑にあふれる里地里山をいかした、自然と触れ合える観光レクリエーションの場として、活用をしていきたいと考えています。</p>	<p>現在湖畔周辺の環境整備を進めるための基本方針を取りまとめており、この中で震生湖の観光振興を進める方向性を示したいと考えています。</p>	<p>商工観光課</p>
3	<p>震生湖の整備において、まずはトイレの整備を行うことが大切だと考えます。</p>	<p>観光地におけるトイレ整備の重要性は認識しています。徐々に観光拠点にトイレ整備を進めているので、検討していきたいと考えます。</p>		

4	堆肥施設の臭気問題について、市が行った臭気測定の手法に疑問があります。場所や時間など、真に臭気を捉えるようなものではなく、ただ測定した、という事実のみが感じられます。	測定については、調査を委託した業者も合わせ、よく反復したいと考えます。	当日の回答に同じ。	農産課
5	堆肥場の臭気の問題は、地元だけでなく、離れた地域も影響があります。大きな問題として捉え、しっかり対応をしてもらいたいと思います。	現在、堆肥の成分調整を行うなど、臭気低減の努力をしています。測定値にも表れており、今後も関係機関と協力し、低減を図っていきたいと考えます。	当日の回答に同じ。	農産課
6	区画整理の場所など、地元住民でない人には分かりにくいと思います。配布資料として地図も用意して欲しいと思います。	(要望)	より分かりやすい資料をお配りできるようにします。	広聴相談課
7	市の財政を良くするために、様々なものを活用して取り組むべきだと思います。その際、民間の知恵も利用することも必要だと考えます。	市役所の敷地内へのコンビニエンスストアの誘致や保健福祉センター内への特定郵便局の誘致など、収入増加を図る取り組みをしています。	当日の回答に同じ。	財政課

8	報酬カット等に頼らないで、効果的な行革で効果を上げていくことが大切ではなでしょうか。	総合計画とあわせ、公共施設再配置計画、新行革プラン、三位一体で進めています。新行革プランは、無理をせず無駄を省く工夫に取り組む計画になっています。	新行革プランは「身の丈に合わせた行政経営の推進」「民間委託等の推進」「『入るを量る』施策の推進」「『出づるを制する』改革の実行」「職員の意識改革と市民サービスの向上」「市民等との協働・連携の推進」の6つの視点を掲げ取り組んでおり、これまでごみ収集業務や給食調理業務等の民間委託の推進、未収金対策の強化、未利用地の売却、特別会計の改革等により、目標を上回る効果をあげています。 今後も引き続き新行革プランの着実な実行を図ります。	行政経営課
9	産業振興策に取り組まないと、企業撤退や就業労働人口の減少につながる事が心配です。	新東名開通など、新しいチャンスが逃がさず、産業振興等につなげていきたいと考えます。	産業振興策として、「企業等の立地及び施設再整備の支援に関する条例」を平成16年に制定し、市内に立地した企業や既存企業の工場増改築等に対して優遇措置を講じ、市外からの工場誘致と市内企業の市外への流出防止及び市内雇用の促進を図っています。	商工観光課
10	たばこ祭の名称は、現在の嫌煙風潮に逆行していると感じます。	各地の祭りはそれぞれ地域の歴史や文化、伝統の積み重ねの上にあります。秦野のたばこ祭も同様と考えます。市民の皆さんの意見は大事であり、しかるべき時期での調査の必要性はあると考えますが、同時に歴史や伝統をしっかりと継承し、郷土愛を育むことも大切だと考えます。	たばこ祭を運営する「秦野たばこ祭実行委員会」において、第70回の秦野たばこ祭の開催に向けイベント内容の検討組織を設置する予定です。 この組織の中で、祭りの在り方について総合的に検討されます。	商工観光課